



世界のカメ展 開催中！！

ほたる館では夏の企画展【世界のカメ展～知ってほしい地球の仲間たち～】を開催中です。

一口に「カメ」といっても多種多様な姿や生活史があります。そんな「カメ」について知ってほしいと考え、今回【甲羅の形】【沖縄のカメ】【カメの現状】【外来種問題】【交雑種問題】の5つのテーマ別に6種類のカメたちを展示しています！

この夏、ほたる館で「カメ」という生き物を知って考えてみませんか？

7月14日 ほたる館情報
ハイケボタル 7匹

北九州市ほたる館 夏の企画展

世界のカメ展

～知ってほしい地球の仲間たち～

令和3年7月17日(土)～9月5日(日)



知っているようで知らない「カメ」という生き物。世界には約300種のカメが暮らしています。この展、5つのテーマ別に6種類の「カメ」がほたる館に集合！ 姿形から暮らし方まで様々な「カメ」をほたる館で観てみませんか？

＜展示予定種＞
ヒョウモンガメ
ミシシッピアカミミガメ
ヤエヤマシガメ
キボシシガメ
ズアカヒラタヘビクビガメ
交雑種（イシガメ×クサガメ）

協力：ふれあい動物園 ビクニカ共和国

都合により予告なく中止や内容変更を行う場合がありますのでご了承ください。

北九州市ほたる館

〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷1777-1-1
TEL: 093-561-0800
HP: https://hotarukan.jimdofree.com/



ほたる館の仲間たち



シュレーゲルアオガエル

アマガエルとは姿形よく似ているが、全くの別種。名前の「シュレーゲル」は発見したオランダの動物学者が由来。外来種と思われがちだが、日本固有種。

ホタル一口メモ

ホタルにも方言がある？

ホタルの中でもゲンジボタルはオスがメスを探すときに、一斉に点滅発光を繰り返します。この発光間隔が西日本では約2秒、東日本では約4秒となっています。西日本はせっかち型、東日本はのんびり型とされます。その2つの型が接した地域で3秒型が観察されるということです。この発光間隔の違いを発見されたのは大場信義先生で、先生はこの東西の発光バターの違いは関西弁と東北弁といった方言に相当すると考えられています。

出典：「ホタルの不思議」大場信義著

8月のイベント

- ① 世界カメ展
～知ってほしい地球の仲間たち～
7/17(土)～9/5(日)
- ② ホタルと連鶴の折り紙教室
8/7(土) 13:00～14:00
- ③ 親子で学ぶ昆虫学入門
「昆虫の飼育と観察」
8/14(土) 14:00～16:00
- ④ 生き物講座
「カッター君となかまたち」
8/21(土) 14:00～16:00

※8月4日(水)より募集開始
※中止になる場合があります。
ご了承ください。



北九州市ほたる館

住所 〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1
 開館時間 9:00～17:00
 入館料 無料
 休館日 火曜日(祝日の場合はその次の平日)
 年末年始(12/29～1/3)
 HP <https://hotarukan.jimdofree.com/>
 西鉄バス45番・49番 第一熊谷町から徒歩5分
 お問い合わせは TEL 093-561-0800



ホームページ



Facebook



Instagram

